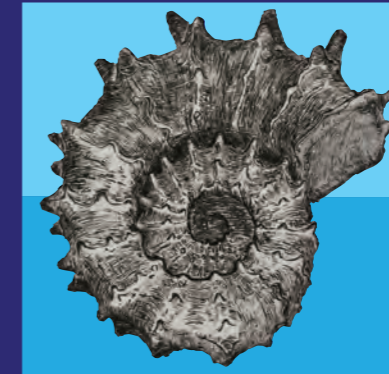


—銅版画で辿る化石図鑑—
アンモナイトと恐竜時代の生物



CRETACEOUS AMMONITES AND OTHER LIFE WITH COPPERPLATE PICTURES



福岡幸一著
KOICHI FUKUOKA

アンモナイトと恐竜時代の生物

CRETACEOUS AMMONITES AND OTHER LIFE
WITH COPPERPLATE PICTURES

アンモナイトと恐竜時代の生物

福岡幸一著

本誌に収録された掲載作品総数:317点

■恐竜時代の生物編

植物8種/ウミユリ/軟体動物6種/節足動物3種/チューブワーム
脊椎動物/魚類3種/爬虫類3種/恐竜類(含む鳥類)6種など。

■アンモナイト分類編

4亜目/13超科/36科/41亜科/181属/7属種不明/69亜属

■B4サイズ横開き・上製本 ■208頁・総カラー

■化石写真:44点 ■地層写真:15点

■定価:15,000円(税別) ■送料:1,000円(国内送料)

■ブックデザイン:玉本 猛

■掲載作品写撮影 カメラマン:笠井 義郎

●ご予約お申し込み・お問い合わせ先:福岡 幸一

〒061-3441 北海道石狩市厚田区聚富211-29

Tel&Fax.0133-60-3730 E-mile:bbb997@ybb.ne.jp

URL=https://fkanmo.web.fc2.com/

版画家福岡幸一渾身の化石図鑑が間もなく発売予定



ただいま出版社折衝中—ご予約開始!!

北海道は白亜紀後期の地層が連続的に分布する、世界でも有数のアンモナイト産出地である。そのため化石の持続的採取が可能で、保存状態が良好な地球の激変に対応した多種多様な属・種が続々と発見されている。環境に合わせ、多種多様に進化したアンモナイト特有の「フォルムの魅力」に私は惹かれ、制作意欲に拍車をかけられた。

幸運にも私は北海道に在住し、銅版画家として「北の風土」と向き合ってきた。一方在野のアンモナイト愛好家でもあり、40年間多くの方々に支えられて、写真で綴る『北海道アンモナイト博物館』(2000年北海道新聞社刊)を上梓することが出来た。

そして2001年から始めたアンモナイト版画の制作テーマは「属を描き作品化すること」であった。写真や精密画でもなく、分類学的特徴を捉えた銅版画作品を目指した。

さらに2010年、北海道大学総合博物館企画展を契機に「恐竜時代の生物」の化石と向き合い、恐竜、鳥、カメ、首長竜、植物など他分野を描いてきた。本誌の「恐竜時代の生物編」の作品には各分野の研究者、古生物研究者による化石の説明文が付けられ、また「アンモナイト分類編」では超科・科・亜科・属・亜属のアンモナイト研究者等の解説文も付記し、図録として、また図鑑としての機能も備えたものとなっている。